

仙台高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	実用英語Ⅱ
<b>科目基礎情報</b>					
科目番号	0258	科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	総合科学系 (広瀬キャンパス一般科目)	対象学年	5		
開設期	後期	週時間数	2		
教科書/教材	"CNN 10—Student News—Vol.2" 関戸冬彦・小暮正人著 (朝日出版社)				
担当教員	鎌田 紀子				
<b>到達目標</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>英語運用の基礎となる知識や技能を習得し、実際の場面での英語の使用に役立てることができる。</li> <li>相手と英語でコミュニケーションを図ろうとする態度や異文化を理解しようとする姿勢を身に付け、実際の場面での英語の使用に役立てることができる。</li> <li>社会性のある話題や自分の専門に関する基本的な情報や考えについて、内容の聴解、読解、伝達に加え、簡単な意見交換ができる。</li> </ul>					
<b>ルーブリック</b>					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	最低限の到達レベルの目安 (可)	未到達のレベル (不可)	
英語の語彙・文法の知識	高い独立性を発揮して英語の語彙・文法知識を活用できる。口語英語表現への応用も利く。	通常の状態ですべて英語の語彙・文法知識を活用できる。口語表現もほぼ理解できる。	補助を得て英語の語彙・文法知識を活用できる。口語英語も指摘されれば理解できる。	英語の語彙・文法知識を活用できない。口語英語表現への応用が利かない。	
英語のライティングスキル	高い独立性を発揮して構文・語彙を駆使した英文を作ることができる。	通常の状態ですべて構文・語彙を使用した英文を作ることができる。	補助を得て構文・語彙を使用した英文を作ることができる。	補助を得ても、基礎的な英文が作れない。	
英語の聴解と読解スキル	映像を見ながら、初見のニュースの要点がおおむね理解できる。	映像とトランスクリプトを参照しながら、ニュースの内容がおおむね理解できる。	学習後、映像とトランスクリプトを参照すれば、ニュースの内容が理解できる。	映像とトランスクリプトを参照しても、既習のニュース内容が半分ほどしか理解できない。	
<b>学科の到達目標項目との関係</b>					
学習・教育到達度目標 2 国際的に通用する基礎的なコミュニケーション能力の習得					
<b>教育方法等</b>					
概要	ニュース英語を題材として、多方面にわたるトピックに興味を拓きながら、自然な英語の音声に「チューニング」していく。必要な語彙や言い回しを習得し、省略や倒置などの口語表現に慣れることによって、各学生が運用可能な英語の範囲を広げることがねらいとする。				
授業の進め方・方法	英文を頭の中で整理して把握するだけでなく、要点を捉えて他の人にわかるように説明する力を養う。そのため、ニュース英文(トランスクリプト)部分は、最初と終わりの段落を希望する個人が担当し、単語・慣用句・文法に加え、内容について(アウトラインの板書は英語で、説明は日本語での補足も加えて)ミニ・プレゼンする形を取る。その他は状況に合わせて個人やチームにその場で指名する。学期の中間地点で、既習事項の確認のため、語彙・英作文・リスニングに関する小テストを行う。				
注意点	導入部の語彙問題 (2 Vocabulary/ 3 Vocabulary Exercise) は、最低限、予習が必要である。段落のミニ・プレゼンは代表者のみになるが、未発表者は最終的に課題提出の形で埋め合わせすることになる。従って、各自が時間がある時を選び、進んでプレゼン担当をすることが望まれる。				
<b>授業計画</b>					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	Unit 8 Ice Cream—アイスクリーム大学—	<ul style="list-style-type: none"> <li>ニュース映像の事前視聴で理解力を判断する。</li> <li>乳製品や食にまつわる語彙の確認とTopic Paragraphを中心とした内容理解。</li> <li>ニュース本体を完成させる。</li> </ul>	
		2週	Unit 8 Ice Cream	<ul style="list-style-type: none"> <li>ニュース本体の内容理解。</li> <li>練習問題/ 映像の事後視聴で理解力向上を確認する。</li> </ul>	
		3週	Unit 9 Nigerian Women's Bobsled Team—ナイジェリア出身のボブスレー選手—	<ul style="list-style-type: none"> <li>ニュース映像の事前視聴で理解力を判断する。</li> <li>スポーツやオリンピックにまつわる語彙の確認とTopic Paragraphを中心とした内容理解。</li> <li>ニュース本体を完成させる。</li> </ul>	
		4週	Unit 9 Nigerian Women's Bobsled Team	<ul style="list-style-type: none"> <li>ニュース本体の内容理解。</li> <li>練習問題/ 映像の事後視聴で理解力向上を確認する。</li> </ul>	
		5週	Unit 10 Zoo Dog—動物を管理する動物—	<ul style="list-style-type: none"> <li>ニュース映像の事前視聴で理解力を判断する。</li> <li>動物や飼育にまつわる語彙の確認とTopic Paragraphを中心とした内容理解。</li> <li>ニュース本体を完成させる。</li> </ul>	
		6週	Unit 10 Zoo Dog—動物を管理する動物—	<ul style="list-style-type: none"> <li>ニュース本体の内容理解。</li> <li>練習問題/ 映像の事後視聴で理解力向上を確認する。</li> </ul>	
		7週	Units 8-10の振り返り① (英作文小テスト) Unit 11 Google Before Google—グーグルがなかった時代には—	<ul style="list-style-type: none"> <li>英作文問題に取り組み、既習の語彙の綴りやその使用例を定着させる。</li> <li>(Unit 11の導入) 映像視聴で理解力を判断する。</li> <li>旧来の検索方法にまつわる語彙の確認とTopic Paragraphを中心とした内容理解。</li> </ul>	

4thQ	8週	Units 8-10の振り返り② (リスニングチェック) Unit 11 Google Before Google	<ul style="list-style-type: none"> <li>リスニング問題に取り組み、既習の語彙を耳から把握する。(Unit 11)</li> <li>ニュース本体の内容把握と練習問題/ 映像の事後視聴で理解力向上を確認する。</li> </ul>
	9週	Unit 12 3D Food Printing—料理を3Dプリンターで—	<ul style="list-style-type: none"> <li>ニュース映像の事前視聴で理解力を判断する。</li> <li>調理と3Dプリンティングにまつわる語彙の確認とTopic Paragraphを中心とした内容理解。</li> <li>ニュース本体を完成させる。</li> </ul>
	10週	Unit 12 3D Food Printing	<ul style="list-style-type: none"> <li>ニュース本体の内容理解。</li> <li>練習問題/ 映像の事後視聴で理解力向上を確認する。</li> </ul>
	11週	Unit 13 Bitcoin—ビットコインの表と裏—	<ul style="list-style-type: none"> <li>ニュース映像の事前視聴で理解力を判断する。</li> <li>ビットコインにまつわる語彙の確認とTopic Paragraphを中心とした内容理解。</li> <li>ニュース本体を完成させる。</li> </ul>
	12週	Unit 13 Bitcoin	<ul style="list-style-type: none"> <li>ニュース本体の内容理解。</li> <li>練習問題/ 映像の事後視聴で理解力向上を確認する。</li> </ul>
	13週	Unit 14 Money to Soil—古くなった紙幣は土へ—	<ul style="list-style-type: none"> <li>ニュース映像の事前視聴で理解力を判断する。</li> <li>通貨やゴミ廃棄にまつわる語彙の確認とTopic Paragraphを中心とした内容理解。</li> <li>ニュース本体を完成させる。</li> </ul>
	14週	Unit 14 Money to Soil	<ul style="list-style-type: none"> <li>ニュース本体の内容理解。</li> <li>練習問題/ 映像の事後視聴で理解力向上を確認する。</li> </ul>
	15週	期末試験	
	16週	期末試験のフィードバックと後期の振り返り	

#### モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用能力向上のための学習	英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	3	
				関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	3	
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	3	後1
				英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	3	後6,後8
				実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	3	

#### 評価割合

	期末試験	作文小テスト	聴解小テスト	発表	合計
総合評価割合	120	30	40	10	200
総合評価割合	60	15	20	5	100
基礎的能力	30	10	10	3	53
応用的能力	30	5	10	2	47